




事業報告書

日時	令和4年12月17日（土）10:00～12:00
目的	<p>男性が家事・育児に参画することで、男性自身が多様な視点で世の中を見ることができるようになる、家族の絆が深まる、女性が社会に参画していくためのハードルが低くなる等々があるとの理解が次第に広がってきているものの、なかなか実践に至らない家庭が多いことが想像される。</p> <p>今回の講座では家族全員の使用頻度が高いにもかかわらず、整理整頓が見過ごされたり、特定の人の役割となっている「冷蔵庫収納」に関するノウハウをパートナー同士で受講することで、どちらかのみによらない家事・育児参画の具体的な第一歩となることを目指すもの。（沖縄県男女共同参画計画 DEIGO プラン1-1-1）</p>
対象	関心のある男性及びそのパートナー（おひとり受講もOK・男性優先）
講師	渡名喜 一珠美 氏（整理収納アドバイザー、整理収納教育士認定講師）
会場	ているる3F 研修室1・2
参加者数	6名（カップル1組＋4名）
講演内容 (概要)	<p>整理収納のプロによる冷蔵庫のお片付け講座は、出席者全員の自己紹介の後、冷蔵庫への思いをワークシートで可視化することから始まった。</p> <p>その後講師は、「整理」「収納」「整頓」「掃除」といった片付けに関する言葉の意味を説明し、それぞれの意味を知らないと、自分が何をしているのかがわからなくなると述べた。</p> <p>講師は冷蔵庫を片付けるメリットは「食材」「お金」「時間」のムダをカットすることであるとし、農林水産省などの資料をもとに食品ロスの現状や、冷蔵庫内の見える化が消費エネルギー削減につながり、SDGs観点でも重要であることを説明した上で、冷蔵庫・冷凍庫収納割合、片付けのためのステップ、冷蔵庫内を見える化するルールなどに加え、映像を用いて片付けや時短のための多数のテクニックを紹介した。</p> <p>さらに、講師は日々の献立づくりを楽にする方法として、普段よくつくる料理を食材毎に書き出して「主菜メニュー」を作成し、それをもとに「献立表」をつくる方法、及び、「毎週日曜日は〇〇の日」と決めてしまう方法を紹介し、受講者からは「やってみたい」との声が聞かれた。</p> <p>講師は、お片付けは「次に使う人が取りやすいように」「小さい子どもが使いやすいように」という「思いやり」の心が大切であり、その心が自分のためにもなること、また、家事は女性だけではなく家族でするものなので、女性も家族にまかせてみるのが大切としめくくった。</p>
参加者の声	<p>(自由記載欄より抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none">・講師の話が整理されていて分かりやすかった。・冷蔵庫片付けのメリットはとても印象に残る。食材、お金、時間のムダをなくすことを考え、片付けを見直したい。・分かりやすく、すぐに実践できる事ばかりだったので面白かったです。
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;"><p>渡名喜 一珠美 氏</p></div><div style="text-align: center;"><p>講座風景</p></div><div style="text-align: center;"></div></div>
主催等	主催：沖縄県、(公財) おきなわ女性財団